



三重大学医学部附属病院

〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174 TEL:059-232-1111 (代表)
<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/>
 ●開設/昭和47年5月1日 ●病床数/685床(有料病床含む)



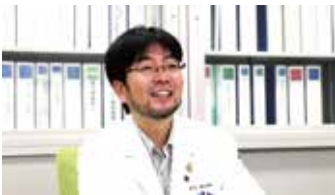
【活用のポイント】

- RFIDとバーコード併用
- 電子カルテ連携

導入機種:AsReader ASR-020D/030D
 導入時期:2017年1月



副病院長 (医療サービス担当)
 看護部長 江藤由美様



医療情報管理部
 副部長 安積良紀様

従来より、大きく重い専用PDAとiPod touchに装着するジャケット型のPDAをお使いだった三重大学医学部附属病院様。リブレースにあたり、RFIDとバーコード2種類のAsReaderをご採用頂きました。バーコード読み取りの精度が上がり、RFIDのリストバンドやラベルを導入したことにより、照合時間が大幅に短縮され、業務効率が高まったとお話くださいました。

インタビュー動画はこちら!

<https://asreader.jp/movies/>



お手持ちの携帯電話やスマートフォンのカメラで、こちらのQRコードを読み込んでください。

日本初! UHF帯RFID 導入で看護業務を劇的に効率化!



課題

- PDAでは注射と輸血の3点照合は可能だったが、検体の照合が不可能だった。iPod touchは検体の照合も出来たが、読み取り精度が悪く、結果として検体の照合がされず検体取り違えのインシデントが発生した。
- 数が限られていたPDAは巡回時には取り合い状態になり、しかも大きくて重いため、液晶パネルの破損等も多く困っていた。

背景

- 総務省が発表した平成27年度「電波の医療機器等への影響に関する調査」報告書で、ハンディタイプのRFIDリーダーがICDに全く影響しないという結果を受けて、医療現場での積極的な活用を模索していた。

ソリューション (電子カルテ連携による三点照合において)

- AsReaderにより、バーコードの読み取り精度が格段に向上。
- RFID AsReader と RF タグにより、バーコードのような1対1での照合から1対多での照合が可能になり、特に検体照合の時間が短縮。

効果

- 照合に関して、以前はエラーが多かったが今はスムーズに照合ができ、時間の短縮に加えてインシデントの減少を期待している。
- スマホ世代の若い看護師が多いのでスムーズに運用開始でき、褥瘡などの写真をカルテに連携させるといった、iOSの機能も有効活用できている。

AsReader. とは?

iPhone/iPod touchに装着するだけで、スマートデバイスが持つ機能をそのまま活かせる強力なハンディターミナルです。



働く
 スタッフ
 の声

バーコードの読み取りが早くなって、使いやすいです。ただ、夜の点滴交換など患者さんのリストバンドを読む為に、患者さんを起こしてしまう事もあるので、今回RFIDでの読み取りになって、布団の上からでも照合出来るのが良いと思います。また、複数のスピッツ管があるとき、今まではバーコードでひとつひとつ読んでいかないといけなかったところが、RFIDに変わってからいっぺんに照合が出来るようになったので、凄く早くなりました。

【この導入事例は、2017年6月現在の情報に基づいています】



株式会社アスタリスク

本社:〒532-0011 大阪府淀川区西中島5-6-16 新大阪大日ビル201 Tel:050-5536-1185 Fax:06-6886-1114
 東京事業所:〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7 水天宮HSビル2F Tel:050-5830-5393
<https://www.asx.co.jp> <https://asreader.jp>